

ABCI 3.0開発加速利用（2024年度）成果概要（公開用）

課題名： マルチモーダル実況生成とその評価	実施時期：2024年4月-2025年3月 所属機関名：産業技術総合研究所人工知能研究センター 代表者氏名：石垣達也
成果概要： 株価などの数値列データを与えると、データをことばで分かりやすく説明する技術についての研究開発についてABCIを活用し、EMNLP2024 (Findings)およびLREC-COLING2024の2つのトップ国際会議で発表を行った。また、対戦ゲーム(スマッシュブラザーズ)やレーシングゲームを題材にしたリアルタイムなマルチモーダル言語生成に関する研究タスクにおいてもABCIが活用され、国際会議3本(投稿中)、国内会議2本、これらの研究をもとにした招待講演2件を産総研を中心とする研究チームによって行った。	
成果のポイント： 数値列を分かりやすく説明するデータからの言語生成 (data-to-text)、リアルタイムにビデオデータからスポーツ実況を生成する技術の開発を行い、以下の成果が得られた： 【国際会議 (2本採択済み)】 時系列数値データをプロンプトとして効果的に表現するための手法での論文発表の詳細は以下です： - Prompting for Numerical-Sequence: A Case Study on Market Comment Generation, EMNLP (Findings), 自然言語処理トップ会議採択 - Demonstration Selection Strategies for Numerical Time Series Data-to-Text, LREC-COLING2024, 自然言語処理トップ会議採択 【ABCIを用いたプロジェクト紹介を含む招待講演】 - 難解な数値データを分かりやすく説明する言語生成技術の最前線と未来, 石垣達也, 言語処理学会の招待でマルチモーダル実況生成技術についてポスター講演 - 発話内容書き起こしを越えて音声と言語を結びつけたい, 高道慎之介, 言語処理学会の招待でマルチモーダル実況生成技術についてポスター講演 【国際会議 (3本投稿中)】 実況生成のための音声合成と評価技術についての論文投稿3件。(投稿中のため非公開情報となります。)	
成果についてより詳細な情報を提供しているWebページ、発表論文などの情報： 採択済み論文の2本はオープンアクセスでどなたでも閲覧可能です。 言語処理学会: https://yans.anlp.jp/entry/yans2024invitesession	